



さいじょう

文芸広場

俳句

玉井北男 選

野あやめに湧水の音響くなり

前山を一つ残して春の雲

咲き継ぎて躑躅の道となりけり

万歩計満たす散歩や柿若葉

息とめて薔薇の香吸いしま、撮らる

一声も立てず燕巢に籠る

草笛を鳴らす少年ひとりぼち

病室の空をはみ出しつばめとぶ

川柳

藤原真佐美 選

思い寄せ華やぐ朝の赤い薔薇

うれしいよ病魔に勝った友とお茶

茗荷きざみ一人香りと登ごはん

老い一人意地も小さく止めておく

息子から花束もらい類緩む

雑草に我が物顔で居すわられ

春野菜収穫遅れ臺が立つ

縫う腕が欲しいガラクタ活かしたい

渡邊直子

三好清信

加藤泰江

藤田ウメノ

越智幸子

池田智恵子

高塚啓子

藤原博

短歌

藤田虎雄 選

石鏝に紅が差すとき新しき希望が生まる高さ  
夏空 真鍋正利

わが家より見えぬて楽し鯉のぼり午後から西  
に向きを変へたり 森田 薫

青葉過ぐる初夏のそよ風 図書館の前にたた  
ずみ思い切り吸う 坂根祐子

散り積もる花屑の下 春の草青々として早く  
も芽吹く 青野淑子

蜘蛛の糸に枯葉捕まり風に揺れ逃るる術なき  
蝶に見え居り 宮田 忍

亡き夫の手塩にかけし黄えびねを一人眺めて  
飲むお茶渋し 越智富美子

指先に力を込めて豆弾く 飛び出す匂ひ空豆  
の青 森本郁子

食卓の崩壊といふ記事を読み懐かしいあの頃  
の卓袱台 菅 正子

俳句・川柳・短歌 作品募集

作品は、読みやすい書体（楷書等）で作成し、  
俳句・川柳・短歌の別を書き、漢字にはふりが  
なを振り、住所・氏名・電話番号を明記し、毎  
月1日までに担当課へ郵送・持参してください。  
応募先

〒793-8601 明屋敷164  
西条市役所 広報広聴課 広報係  
TEL 0897-52-1204 (直通)

歌会始のお題と詠進要領 平成28年度は「人」

平成28年の歌会始のお題は「人」と定められました。

詠進要領

- ① 詠進歌は自作の短歌一人一首とし、未発表のもの。
- ② 書式は半紙（習字用）を横長に用い、右半分にお題と短歌、左半分に郵便番号、住所、電話番号、氏名（本名・ふりがな）、生年月日、性別、職業（具体的に。無職の場合は「無職」）を縦書きで書いてください。
- ③ 半紙には、毛筆で自書してください。
- ④ 病気の方・身体に障害のある方は、代筆（墨書）、ワープロ、パソコンなどを使用できます。この場合、理由（代筆の場合は代筆者の住所・氏名を併せて）を別紙に書いてください。視覚障害のある方は点字での詠進が可能です。

注意事項

- 次の場合は失格となります。
- ① お題を詠んでいない場合・短歌の定型でないもの、用紙が縦長の場合② 一人で二首以上詠進した場合や毛筆でない場合③ すでに発表された短歌と同一か類似していた場合④ 詠進歌を歌会始の行われる以前に新聞、雑誌や、その他の出版物、年賀状などで発表した場合⑤ 代筆の理由書を添えた場合を除き、同筆と認められる場合⑥ 住所、電話番号、氏名、生年月日、性別、職業を書いてない場合、その他詠進要領によらない場合。
- 宛先 封筒に「詠進歌」と書き添え、9月30日㈫（消印有効）までに「〒100-8111 宮内庁」へ郵送してください。
- 問合せ 郵便番号・住所・氏名を書き、返信用切手をはった封筒を添えて、9月20日㈫までに宮内庁式部職へ郵送でお問い合わせください。また、宮内庁のホームページをご参照ください。